

川崎市施設等利用費（保育料） 請求事務マニュアル （私学助成幼稚園用）

令和 7 年 3 月 2 1 日

第 7 版

川崎市こども未来局保育・幼児教育部幼児教育担当

発行履歴

版数	発行日	発行課	備考
第 1 版	令和 3 年 3 月 3 日	こども未来局子育て推進部幼児教育担当	
第 2 版	令和 3 年 3 月 2 5 日	こども未来局子育て推進部幼児教育担当	
第 3 版	令和 4 年 3 月 1 日	こども未来局子育て推進部幼児教育担当	
第 4 版	令和 5 年 2 月 2 8 日	こども未来局子育て推進部幼児教育担当	
第 5 版	令和 5 年 3 月 1 日	こども未来局子育て推進部幼児教育担当	令和 5 年度用に文言等修正
第 6 版	令和 6 年 3 月 2 1 日	こども未来局保育・幼児教育部幼児教育担当	令和 6 年度用に文言等修正
第 7 版	令和 7 年 3 月 2 1 日	こども未来局保育・幼児教育部幼児教育担当	令和 7 年度用に文言等修正

目次

1 章 施設等利用費（保育料）について.....	1
1 施設等利用費（保育料）請求対象となる園児.....	1
2 請求可能期間について	2
3 日割り計算	3
4 請求に必要なもの	4
2 章 請求手順	5
1 請求書シートの作成	5
(1) 4 月（初回請求）	5
(2) 5 月以降（2 回目以降）	7
2 内訳書（当月請求）（満3歳～年長クラス）シートの作成.....	10
(1) 内訳書（当月請求）の確認及び入力.....	10
(2) パターン別の入力方法	11
パターン1：入園キャンセルした園児が記載されている場合	12
パターン2：新たに認定された園児で請求月に在園している場合	13
パターン3：先月で退園した園児がいる場合	15
パターン4：先月より前に退園した園児がいる場合	17
パターン5：当月の途中（2 日以降）に市外へ転出する園児がいる場合	19
パターン6：先月より前に市外へ転出した園児がいる場合	20
パターン7：先月より前に在園のまま市外から川崎市へ転入し、認定がある場合	22
パターン8：先月で病気等の理由で長期の休みに入った園児（休園した園児）がいる場合	25
パターン9：病気等による長期の休みが終わり、登園を再開した園児がいる場合	28
3 川崎市へ申請する	31

1 章 施設等利用費（保育料）について

ここでは、施設等利用費（保育料）を請求する際の請求対象となる園児や請求額、請求に用いる様式等について解説します。

1 施設等利用費（保育料）請求対象となる園児

施設等利用給付認定（新1号認定又は新2号認定）があり、園を利用している**満3歳～年長クラスに在籍している園児**です。満3歳児は、週5日、1日4時間等、年少～年長クラスと同等の教育時間を通して**入園扱いではない、正規の教育課程に通っていない園児**は対象外となります。

例：令和7年4月に令和7年4月分の施設等利用費（保育料）を請求する時に請求できる園児

施設等利用給付認定期間	認定区分	在園状況	請求可否
令和7年4月1日～	新1号認定か新2号認定	年少クラスに在籍	○
令和6年4月1日～令和9年3月31日	新1号認定か新2号認定	年中クラスに在籍	○
令和5年4月1日～令和8年3月31日	新1号認定か新2号認定	年長クラスに在籍	○
認定申請中	なし	年少～年長クラスに在籍	×
認定期間終了日が令和7年3月31日以前	なし	なし	○ 請求をしていない園児分のみ請求可。(※)
認定がない	なし	年少～年長クラスに在籍	×

※請求できる園児は、過去2年間となります。

2 請求可能期間について

施設等利用費（保育料）の請求可能期間については、子ども・子育て支援法第 78 条により、請求可能期間が 2 年間と定められています。前年度以前の御請求をする際は、御注意ください。

施設等利用給付費（保育料）の請求可能期間の一例

債権	消滅時効	請求可能開始日	請求可能最終日最終 （受領期日）
令和 2 年 3 月利用分	2 年間	令和 2 年 4 月 1 日	令和 4 年 3 月 3 1 日
令和 2 年 4 月利用分	2 年間	令和 2 年 5 月 1 日	令和 4 年 5 月 2 日
令和 2 年 5 月利用分	2 年間	令和 2 年 6 月 1 日	令和 4 年 5 月 31 日
令和 3 年 3 月利用分	2 年間	令和 3 年 4 月 1 日	令和 5 年 3 月 3 1 日
令和 4 年 3 月利用分	2 年間	令和 4 年 4 月 1 日	令和 6 年 3 月 3 1 日
令和 5 年 3 月利用分	2 年間	令和 5 年 4 月 1 日	令和 7 年 3 月 3 1 日

※請求可能期間満了日が、土日祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）にあたる場合は、休日の翌日が満了日となります。

3 日割り計算

施設等利用給付認定を持っている園児分は、無償化上限額 25,700 円と月額保育料を比較し、低い方を施設等利用費として請求することができます。ただし、請求月の認定開始日や認定終了日が月途中である場合は、日割り計算した金額を上限額として請求することとなります。

日割り計算式の例（保育料が 25,700 円を超えている場合の無償化上限額算出例）

（１）認定開始日が月途中である場合

休業期間・休業期間外

$25,700 \text{ 円} \times \text{認定開始日以降からの平日日数} / \text{月の平日日数}$ （１円未満切り捨て）

（２）認定終了日が月途中である場合

休業期間・休業期間外

$25,700 \text{ 円} \times \text{認定終了日以前までの平日日数} / \text{月の平日日数}$ （１円未満切り捨て）

4 請求に必要なもの

- (1) 施設等利用給付認定状況一覧（毎月月末市から送付）
- (2) 児童一覧（施設等利用給付認定）の差分リスト
- (3) 施設等利用費請求書・施設等利用費請求金額内訳書兼提供証明書（以下「内訳書」という）(Excel)

内訳書の構成

- ・請求書

園名や代表者名等、幼稚園にかかわる情報、各月の請求金額や口座を入力するシートになります。

- ・請求金額

当月請求、追加調整シートの人数や金額を反映しているシートになりますが、基本的に操作する箇所はありません。

- ・当月請求（満3歳～年長）

クラスごとに園児名、生年月日、認定番号、入園料、保育料等が入力されています。毎月の請求時は主にここを編集します。

- ・追加調整

過去に請求していない分や返金する際等に利用します。

- (4) オンライン手続きかわさき（e-KAWASAKI）利用者用操作マニュアル【施設等利用費（保育料）請求用】
- (5) 本マニュアル

2章 請求手順

ここでは、請求に必要な内訳書の各シートの作成方法について説明します。

1 請求書シートの作成

請求書

事業所番号： 請求日 年 月 日	
〔宛先〕川崎市長	
施設等利用費請求書	
私（請求者）は、特定子ども・子育て支援提供者として、子ども・子育て支援法第30条の1第3項の規定に基づき、川崎市に居住している施設等利用給付認定保護者として、施設等利用費を下記の通り申請します。 なお、施設等利用費の審査及び支払いにあたり、次の事項に同意します。 1. 施設等利用費の申請について川崎市が施設等利用給付認定保護者に確認すること。 2. 利用料の請求・支払い状況が川崎市が施設等利用給付認定保護者に確認すること。 3. 川崎市の請求・質問等に対応すること。	
所在地	
幼稚園名	
設置法人 （設置者） の名称	
代表者職氏名	
1. 施設等利用費請求金額	
請求する 年 月 分	請求金額 円
子育て支援の提供開始期	～
2. 施設等利用費請求金額の内訳 当館「施設等利用費内訳書（請求書提出用）」のとおり	
3. 備忘 前回の請求と照し口番を希望する場合は、「継続」にチェックしてください。 ※ 可能な限り前回の請求と照し口番としていただきますよう御協力をお願いします。	
区分	☐ 継続 ☐ 新規
施設等利用費 （請求書提出用）	現金 口座 普通 口座 当座
銀行・信用金庫	天 池 田 信 託 住 信 協 同 共 済 会
農協・信用組合	出 資 額 口座振替手数料

（1）4月（初回請求）

（ア）請求日をタブから選ぶ

事業所番号： 12345678910	
請求日 2022 年 4 月 1 日	
〔宛先〕川崎市長	
施設等利用費請求書	
私（請求者）は、特定子ども・子育て支援提供者として、子ども・子育て支援法第30条の1第3項の規定に基づき、川崎市に居住している施設等利用給付認定保護者に代わり、施設等利用費を下記の通り申請します。 なお、施設等利用費の審査及び支払いにあたり、次の事項に同意します。	

手順

- ①事業所番号を入力します。（既に入力されている場合は、入力不要です。）
- ②請求年月をタブで選択します。
- ③請求日は、1日と入力します。

(イ) 所在地等を確認する

1. 実際の利用状況等について川崎市が施設等利用給付認定保護者に確認すること。
2. 利用料の請求・支払い状況を川崎市が施設等利用給付認定保護者に確認すること。
3. 川崎市の要請・質問等に対応すること。

所在地	神奈川 川崎市 ○○区 ○○○○
幼稚園名	□□□□幼稚園
設置法人 (設置者) の名称	学校法人 △△△△
代表者職氏名	理事長 ●● ●●

- ・所在地、幼稚園名、設置法人（設置者）名、代表者職氏名はあらかじめ入力されていますが、変更がある際は、修正してください。
- ・個人設立の幼稚園は、設置法人（設置者）名と代表者職氏名に設置者（個人）の氏名を入力します。

(ウ) 請求年月、提供時間を確認する

1. 施設等利用費請求金額

請求する 年 月 分	2022 年 4 月分	請求金額	●●●●●● 円
子育て支援の提供時間帯		9 : 0 0 ~ 1 4 : 0 0	

手順

①請求する年月分を入力します。

②教育を提供した時間を入力します。

提供した時間とは、その月の標準的な教育時間です。（基本的には年度を通して変更不要です。）

※請求金額は入力不要です。（自動で反映されます。）

(エ) 口座情報を入力する

3. 振込先									
前回の請求と同じ口座を希望する場合は、「継続」にチェックしてください。									
※ 可能な限り前回の請求と同じ口座としていただきますよう御協力をお願いいたします。									
区分	☒ 継続	☐ 新規							
金融機関名			預金種目	☐ 普通	☐ 当座				
銀行・信用金庫	支店	口座番号							
農協・信用組合	出張所	口座名義(カタカナ)							

手順

施設等利用費（保育料）の振込口座情報を入力します。

※昨年度から継続して施設等利用費（保育料）を請求している場合は、変更がなければ継続にチェックします。

※川崎市に初めて請求する場合は、新規にチェックをして、口座情報を入力します。

(2) 5月以降（2回目以降）

(ア) 請求年月をタブから選択する

		事業所番号： 12345678910
		請求日 2022 年 5 月 1 日
(宛先) 川崎市長		
施設等利用費請求書		
私（請求者）は、特定子ども・子育て支援提供者として、子ども・子育て支援法第30条の11第3項の規定に基づき、川崎市に居住している施設等利用給付認定保護者に代わり、施設等利用費を下記の通り申請します。 なお、施設等利用費の審査及び支払いにあたり、次の事項に同意します。		

手順

請求する年月をタブで選択します。

(イ) 所在地等を確認する

1. 実際の利用状況等について川崎市が施設等利用給付認定保護者に確認すること。
2. 利用料の請求・支払い状況を川崎市が施設等利用給付認定保護者に確認すること。
3. 川崎市の要請・質問等に対応すること。

所在地	神奈川県 川崎市 ○○区 ○○○○
幼稚園名	□□□□幼稚園
設置法人 (設置者) の名称	学校法人 △△△△
代表者職氏名	理事長 ●● ●●

手順

変更がある箇所を修正します。

※前回、請求時から変更がなければ修正する必要はありません。

(ウ) 請求年月、提供時間を確認する

1. 施設等利用費請求金額			
請求する 年 月 分	2022 年 5 月 分	請 求 金 額	●●●●●● 円
子育て支援の提供時間帯		9 : 0 0 ~ 1 4 : 0 0	

手順

①請求する年月分を入力します。

②教育を提供した時間を確認します。変更がある場合は標準的な教育時間を入力します。

※請求金額は入力不要です。(自動で反映されます。)

(エ) 口座情報を入力する

継続の場合

3. 振込先										
前回の請求と同じ口座を希望する場合は、「継続」にチェックしてください。 ※ 可能な限り前回の請求と同じ口座としていただきますよう御協力をお願いいたします。										
区分	☒	継続	☐	新規						
金融機関名				預 金 種 目	☐ 普通		☐ 当座			
銀行・信用金庫	支店	口座番号								
農協・信用組合	出張所	口座名義(カタカナ)								

手順

- ①前回の口座情報から変更がないときは、継続にチェックをします。
- ②銀行名等を空欄にします。

新規の場合

3. 振込先										
前回の請求と同じ口座を希望する場合は、「継続」にチェックしてください。 ※ 可能な限り前回の請求と同じ口座としていただきますよう御協力をお願いいたします。										
区分	☐	継続	☒	新規						
金融機関名				預 金 種 目	☒ 普通		☐ 当座			
★★	銀行・信用金庫	△△	支店	口座番号	0	0	0	0	0	
	農協・信用組合		出張所	口座名義(カタカナ)	●●●●●●●●●●					

手順

前回から変更があるときは、新規にチェックをし、口座情報を入力します。

2 内訳書（当月請求）（満3歳～年長クラス）シートの作成

施設等利用費請求金額内訳書提供証明書(当月請求分 第3歳) ※1										子ども子育て支援の提供時間書							9:00～14:00	
No.	氏名	生年月日	認定番号	認定開始日	入園日	請求月の在園状況 (1日時点)	退園日	請求月の請求対象 理由	入園料納付額									
									請求月の入園料納付総額 a ※3	年間在園月数 b	月額費 c=a/b ※4	保育料 d	納付額合計 e=c+d	無償化 上限額 f	請求金額 g=f-a ※5	請求金額 h=g-b ※6	請求金額 i=h-c ※7	
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	
—	必須	必須	必須	必須	必須	任意	必須	任意	任意	任意	任意	任意	必須	任意	任意	任意	任意	
1								FALSE							25,700	25,700	25,700	
2								FALSE							25,700	25,700	25,700	
3								FALSE							25,700	25,700	25,700	
4								FALSE							25,700	25,700	25,700	
5								FALSE							25,700	25,700	25,700	
6								FALSE							25,700	25,700	25,700	
7								FALSE							25,700	25,700	25,700	
8								FALSE							25,700	25,700	25,700	
9								FALSE							25,700	25,700	25,700	
10								FALSE							25,700	25,700	25,700	
11								FALSE							25,700	25,700	25,700	
12								FALSE							25,700	25,700	25,700	
13								FALSE							25,700	25,700	25,700	
14								FALSE							25,700	25,700	25,700	
15								FALSE							25,700	25,700	25,700	
16								FALSE							25,700	25,700	25,700	

【4月請求時の内訳書（当月請求）入力の注意点】
送付する内訳書に記載されていない園児は認定がないため請求できません。認定審査中の場合がありますので、幼保無償化事務センターまでご連絡ください。

（1）内訳書（当月請求）の確認及び入力

施設等利用費請求金額内訳書提供証明書(当月請求分 年少) ※1										子ども子育て支援の提供時間書 9:00～14:00									
No.	氏名	生年月日	認定番号	認定子ども				退園日	請求月の 請求対象	入園料納付額							請求金額 eとの 少ない方		
				入園日	請求月の 在園状況 (1日時点)	年間 在園月数 a ※3	月経 換算 e=a/b ※4			保育料 納付額 d	納付額合 計 e=c+d	無償化上 限額 f							
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯				
—	必須	必須	必須	必須	該当者	必須	該当者	—	該当者	該当者	—	⑬	⑭	⑮	⑯				
1	〇〇〇〇	平成30年4月2日	50000000xxxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700				
2	●●●●	平成30年10月10日	50000000xxxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700				
3	□□□□	平成31年1月1日	50000000xxxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700				
4	△△△△	平成31年2月22日	50000000xxxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700				

手順

- ①毎月送付される施設等利用給付認定状況一覧及び児童一覧（施設等利用給付認定）の差分リストを確認し、前月から新たに認定された園児や変更のあった園児等の情報を確認し、次ページを参照し入力します。（前月から変更のない園児は、作業不要です。）

※2日以降で退園や在園のまま市外へ転居が決まっている園児がいるとしても当月請求シートでは満額支払い、翌月以降に追加調整シートで減額調整することになります。

- ②既に退園している園児や入園キャンセルの園児、新たに認定された園児が掲載されている場合は、次ページ以降のパターン別の入力方法を参照のうえ、訂正を行います。

※在園しているが、施設等利用給付認定状況一覧や内訳書に記載がない場合は、認定審査中の場合がありますので、幼保無償化事務センターまでご連絡ください。

電話番号：044-246-2025

受付時間：10:00～19:00（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

(2) パターン別の入力方法

パターン1：入園キャンセルした園児が記載されている場合	12
パターン2：新たに認定された園児で請求月に在園している場合	13
・【内訳書（当月請求）シートでの手順】	13
・【追加調整シートでの手順】	14
パターン3：先月で退園した園児がいる場合	15
・【内訳書（当月請求）シートでの手順】	15
・【追加調整シートでの手順】	16
パターン4：先月より前に退園した園児がいる場合	17
・【内訳書（当月請求）シートでの手順】	17
・【追加調整シートでの手順Ⅰ】	18
（日割り計算を行う場合の入力方法）	
・【追加調整シートでの手順Ⅱ】	18
（日割り計算をしない場合の入力方法）	
パターン5：当月の途中（2日以降）に市外へ転出する園児がいる場合	19
・【内訳書（当月請求）シートでの手順】	19
パターン6：先月より前に市外へ転出した園児がいる場合	20
・【内訳書（当月請求）シートでの手順】	20
・【追加調整シートでの手順Ⅰ】	21
（川崎市での認定終了日が月途中で日割が発生する場合）	
・【追加調整シートでの手順Ⅱ】	21
（川崎市での認定終了日が月末等で、日割り計算が発生しない場合）	
パターン7：先月より前に在園のまま市外から川崎市へ転入し、認定がある場合	22
・【内訳書（当月請求）シートでの手順】	22
・【追加調整シートでの手順Ⅰ】	23
（川崎市での認定が月途中で日割り計算が発生する場合）	
・【追加調整シートでの手順Ⅱ】	24
（日割り計算が発生しない場合）	
パターン8：先月で病気等の理由で長期の休みに入った園児（休園した園児）がいる場合	25
パターン9：病気等による長期の休みが終わり、登園を再開した園児がいる場合	28
※パターン8やパターン9のような園児がいる場合には、入力方法を説明するので幼保無償化事務センター宛て連絡してください。	

パターン１：入園キャンセルした園児が記載されている場合

- ア 入園日⑥に記入されている日付を消します。
- イ 請求月の在園状況（１日時点）⑦で入園キャンセルと選択します。
- ウ 請求月の請求対象⑨が対象外となることを確認します。
- エ 入園料納付総額⑩に記入されている金額を消します。
- オ 年間在園月数⑪、月額換算⑫が空欄になることを確認します。
- カ 保育料納付額⑬に記入されている金額を消します。
- キ 納付額合計⑭が〇と表示され、請求金額⑯が〇になることを確認します。

図：内訳書（当月請求）シートで入園キャンセルをした園児がいた場合

施設等利用費請求金額内訳書兼提供証明書(当月請求分 年少) ※1										子ども子育て支援の提供時間帯			9:00～14:00			
No.	氏名	生年月日	認定番号	認定子ども			請求月の 在園状況 (1日時点)	退園日	請求月の 請求対象	入園料納付額			保育料 納付額 d	納付額合 計 e=c+d	無償化上 限額 f	請求金額 eとfの 少ない方
				認定開始日	入園日	入園料納付総額 a ※3				年間 在園月数 b	月額 換算 c=a/b ※4					
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	
—	必須	必須	必須	必須	該当者	必須	該当者	—	該当者	該当者	—	必須	—	—	—	
1	〇〇〇〇	平成30年4月2日	50000000xxxx	令和4年4月1日		入園キャンセル		対象外					0	25,700	0	
2	●●●●	平成30年10月10日	50000000xxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700	
3	□□□□	平成31年1月1日	50000000xxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700	
4	△△△△	平成31年2月22日	50000000xxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700	

パターン２：新たに認定された園児で請求月に在園している場合

【内訳書（当月請求）シートでの手順】

ア 氏名②～認定開始日⑤に必要事項を入力します。

※生年月日③及び認定開始日⑤の入力は、２０２５／４／３０や令和７年４月３０日等の日付で入力してください。

※氏名や生年月日は、施設等利用給付認定状況一覧や児童一覧（施設等利用給付認定）の差分リストで再度確認してください。

イ 請求月の在園状況（１日時点）⑦で在園を選択します。

ウ 請求月の請求対象⑨が対象となることを確認します。

エ 入園料納付総額⑩を入力します。（当該年度に入園料が発生している場合のみ）

オ 年間在園月数⑪が認定開始月から翌年３月３１日までの月数になることを確認します。

カ 保育料納付額⑬を入力します。

キ 請求金額⑯が納付額合計⑭と無償化上限額⑮を比較して、低い金額になることを確認します。

※請求していない月がある場合は、次ページを参照し、追加調整シートで請求します。

図：内訳書（当月請求）シートで新たに認定された園児を追加した場合

施設等利用費請求金額内訳書兼提供証明書(当月請求分 年少) ※1										子ども子育て支援の提供時間帯				9:00～14:00			
No.	認定子ども							入園料納付額				保育料 納付額 d	納付額合 計 e=c+d	無償化上 限額 f	請求金額 eとの 少ない方		
	氏名	生年月日	認定番号	認定開始日	入園日	請求月の 在園状況 (1日時点)	退園日	請求月の 請求対象	入園料納 付総額 a ※3	年間 在園 月数 b	月額 換算 c=a/b ※4						
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯		
—	必須	必須	必須	必須	該当者	必須	該当者	—	該当者	該当者	—	必須	—	—	—		
1	〇〇〇〇	平成30年4月2日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700		
2	●●●●	平成30年10月10日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700		
3	□□□□	平成31年1月1日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700		
4	△△△△	平成31年2月22日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700		
5	■■■■■(新たに追加した園児)	平成30年5月1日	50000000xxxxx	令和4年10月1日	令和4年10月1日	在園		対象	120,000	6	20,000	30,000	50,000	25,700	25,700		

【追加調整シートでの手順】

(複数月で調整する場合は1か月ごとに1行入力してください。)

ア 氏名②～認定終了日⑥に必要事項を入力します。

※生年月日③、認定開始日⑤及び認定終了日⑥の入力は、2025/4/30や令和7年4月30日等の日付で入力してください。

イ 追加調整する利用年月⑧に請求していない年月を選択します。

ウ 追加調整する利用月で既に市から支給された額⑨に市から支払われた金額を入力します。(支払われていない時は、0と入力します。)

エ 異動事由⑩に入園と選択します。(満3歳児の場合は、「満3歳」と選択します。)

オ 異動月の在園日数⑫に、認定開始日⑤より最初の利用日以降の入園月の平日日数を入力します。(月途中の認定で日割り計算が発生する場合のみ)

カ 異動月の平日日数⑬に、当該月の平日日数を入力します。(月途中の認定で日割り計算が発生する場合のみ)

キ 入園料付総額⑭に、入園料の納付総額を入力します。(当該年度に入園料が発生している場合のみ)

ク 年間在園月数⑮が入園月から翌年の3月31日までの月数になることを確認します。

ケ 保育料納付額⑰に保育料を入力します。

コ 納付額合計⑱が月額換算⑯と保育料納付額⑰の合計となることを確認します。

サ 納付額合計⑱と無償化上限額⑲と比較して低い金額が請求金額⑳となることを確認します。

シ 追加調整額㉑が、請求金額⑳と追加調整する利用月で既に市から支給された額⑨の差額となることを確認します。

図：7月請求時に、5月16日から認定されている園児の5月、6月分の施設等利用費(保育料)を請求する場合

施設等利用費請求金額内訳書兼提供証明書（追加調整分） ※1										子ども子育て支援の提供時間帯 9:00～14:00												
No.	認定子ども						追加調整		異動事由 ※2				入園料納付額						保育料 納付額 f g=e+f	無償化上 限額 h i=gと の少ない方	請求金額 j=gとh の少ない方	追加調整額 i-b
	氏名	生年月日	認定番号	認定開始日 a	認定終了日	入園日	追加調整する利用 年月		追加調整する利用月で既 に市から支給された額 b	異動事由 異動年月日（異動事由を退 園、休園、復園を選択した 時のみ入力）	異動月の在園 日数※3	異動月の平日 日数※3	入園料納付 総額 c ※4	年間在園 月数 d ※5	月額換算 e=c/d ※6							
							年	月							数値を入力し てください。	数値を入力し てください。						
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲			
—	必須	必須	必須	必須	該当者	該当者	必須	必須	必須	該当者	該当者	該当者	該当者	—	—	必須	—	—	—			
1	■■■■（新たに認定された園児）	平成30年10月31日	50000000000000	令和4年5月16日	令和7年3月31日		令和4年	5月	0	入園		12	19	120,000		30,000	30,000	16,231	16,231	16,231		
2	■■■■（新たに認定された園児）	平成30年10月31日	50000000000000	令和4年5月16日	令和7年3月31日		令和4年	6月	0	入園				120,000		30,000	30,000	25,700	25,700	25,700		

パターン3：先月で退園した園児がいる場合

【内訳書（当月請求）シートでの手順】

- ア 請求月の在園状況⑦で退園を選択します。
- イ 退園日⑧が入力できるようになるので、退園日を入力します。
- 入力は、2025/4/30や令和6年4月30日等の日付で入力してください。
- ウ 請求月の請求対象⑨が対象外となることを確認します。
- エ 年間在園月数⑪が空欄になることを確認します。
- オ 入園料納付総額⑩と保育料納付額⑬に入力されている金額を消します。
- カ 納付額合計⑭が0となることを確認します。
- キ 請求金額⑯が0になることを確認します。

※月途中で退園している場合は、次ページを参照し、追加調整シートで精算を行います。

図：8月請求時に No. 1 の園児が7月8日（月途中）、No. 2 の園児が7月31日（月末）で退園した場合

施設等利用費請求金額内訳書兼提供証明書(当月請求分 年少) ※1									子ども子育て支援の提供時間帯				9:00～14:00		
No.	認定子ども								入園料納付額			保育料 納付額 d	納付額合 計 e=c+d	無償化上 限額 f	請求金額 eとfの 少ない方
	氏名	生年月日	認定番号	認定開始日	入園日	請求月の 在園状況 (1日時点)	退園日	請求月の 請求対象	入園料 納付総額 a ※3	年間 在園 月数 b ※4	月額 換算 c=a/b ※4				
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
—	必須	必須	必須	必須	該当者	必須	該当者	—	該当者	該当者	—	必須	—	—	—
1	〇〇〇〇	平成30年4月2日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	退園	令和4年7月8日	対象外					0	25,700	0
2	●●●●	平成30年10月10日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	退園	令和4年7月31日	対象外					0	25,700	0
3	□□□□	平成31年1月1日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
4	△△△△	平成31年2月22日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
5	■●●●■	平成30年5月1日	50000000xxxxx	令和4年10月1日	令和4年10月1日	在園		対象	120,000	6	20,000	30,000	50,000	25,700	25,700

【追加調整シートでの手順】

(複数月で調整する場合は1か月ごとに1行入力してください。)

ア 氏名②～認定開始日⑤に必要事項を入力します。

※生年月日③及び認定開始日⑤の入力は、2025/4/30や令和6年4月30日等の日付で入力してください。

イ 追加調整する利用年月⑧に途中退園した年月を選択します。

ウ 追加調整する利用月で既に市から支給された額⑨に当該園児のその月の支給額を入力します。

エ 異動事由⑩は、退園を選択します。

オ 異動年月日⑪は、退園した日を入力します。

入力は、2025/4/1や令和7年4月1日等としてください。

カ 異動月の在園日数⑫に、退園（最後の利用日）までの平日日数を入力します。

キ 異動月の平日日数⑬に、当該月の平日日数を入力します。

ク 納付総額⑭に、入園料の納付総額を入力します。(当該年度に入園料が発生している場合のみ入力してください。)

ケ 年間在園月数⑮が、当該年度の4月から退園月までの月数になることを確認します。

コ 保育料納付額⑰に、月額保育料を入力します。

サ 納付額合計⑱が、月額換算⑯と保育料納付額⑰の合計になることを確認します。

シ 追加調整額㉑が、請求金額㉒と追加調整する利用月で既に市から支給された額⑨の差額となることを確認します。

図：8月請求時にNo. 1の園児が7月8日（月途中）で退園した場合

施設等利用費請求金額内訳書兼提供証明書（追加調整分） ※1										子ども子育て支援の提供時間帯 9:00～14:00											
No.	認定子ども						追加調整		異動事由 ※2				入園料納付額				保育料 納付額 f	納付額合 計 g=e+f	無償化上 限額 h ※7	請求金額 i=g+h の 少ない方	追加調整額 j-b
	氏名	生年月日	認定番号	認定開始日 a	認定終了日	入園日	追加調整する利用 年月		追加調整する利用月で就 に市から支給された額 b	異動事由	異動年月日（異動事由を退 園、休園、復園を選択した 時のみ入力）	異動月の在園 日数※3	異動月の平日 日数※3	入園料納付 総額 c ※4	年間在園 月数 d ※5	月額換算 e=c/d ※6					
							年	月													数値を入力し てください。
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳		
一	必須	必須	必須	必須	該当者	該当者	必須	必須	必須	該当者	該当者	該当者	該当者	一	一	必須	一	一	一		
1	●●●●（退園した園児）	平成30年10月10日	50000000xxxx	令和4年4月1日			令和4年	7月	25,700	退園	令和4年7月8日	6	20	120,000			30,000	30,000	7,710	7,710	-17,990

パターン４：先月より前に退園した園児がいる場合

【内訳書（当月請求）シートでの手順】

- ア 請求月の在園状況⑦で退園を選択します。
- イ 退園日⑧が入力できるようになるので、退園日を入力します。
- 入力は、２０２５／４／３０や令和７年４月３０日等の日付で入力してください。
- ウ 請求月の請求対象⑨が対象外となることを確認します。
- エ 年間在園月数⑪が空欄になることを確認します。
- オ 入園料納付総額⑩と保育料納付額⑬に入力されている金額を消します。
- カ 納付額合計⑭が０となることを確認します。
- キ 請求金額⑯が０になることを確認します。

※次ページを参照し、追加調整シートで精算を行います。

図：７月請求時に、No. 3 の園児が５月２日で既に退園していた場合

施設等利用費請求金額内訳書兼提供証明書(当月請求分 年少) ※1										子ども子育て支援の提供時間帯 9:00～14:00					
No.	氏名	生年月日	認定番号	認定開始日	入園日	請求月の在園状況 (1日時点)	退園日	請求月の請求対象	入園料納付額			保育料 納付額 d	納付額合 計 e=c+d	無償化上 限額 f	請求金額 eとfの 少ない方
									入園料納 付総額 a ※3	年間 在園 月数 b	月額 換算 c=a/b ※4				
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
—	必須	必須	必須	必須	該当者	必須	該当者	—	該当者	該当者	—	必須	—	—	—
1	〇〇〇〇	平成30年4月2日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
2	●●●●	平成30年10月10日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
3	□□□□□(5月で既に退園した園児)	平成31年1月1日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	退園	令和4年5月2日	対象外					0	25,700	0
4	△△△△	平成31年2月22日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
5	■●●●●	平成30年5月1日	50000000xxxxx	令和4年10月1日	令和4年10月1日	在園		対象	120,000	6	20,000	30,000	50,000	25,700	25,700

【追加調整シートでの手順Ⅰ（日割り計算を行う場合の入力方法）】

（複数月で調整する場合は1か月ごとに1行入力してください。）

ア 氏名②～認定開始日⑤に必要事項を入力します。

※生年月日③及び認定開始日⑤の入力は、2025/4/30や令和7年4月30日等の日付で入力してください。

イ 追加調整する利用年月⑧に途中退園した年月を選択します。

ウ 追加調整する利用月で既に市から支給された額⑨に当該園児のその月の支給額を入力します。

エ 異動事由⑩は、退園を選択します。

オ 異動年月日⑪は、退園した日を入力します。

入力は、2025/4/1や令和7年4月1日等としてください。

カ 異動月の在園日数⑫に、退園（最後の利用日）までの平日日数を入力します。

キ 異動月の平日日数⑬に、当該月の平日日数を入力します。

ク 納付総額⑭に、入園料の納付総額を入力します。（当該年度に入園料が発生している場合のみ）

ケ 年間在園月数⑮が、当該年度の4月から退園月までの月数になることを確認します。

コ 保育料納付額⑰に、月額保育料を入力します。

サ 納付額合計⑱が、月額換算⑲と保育料納付額⑰の合計になることを確認します。

シ 追加調整額⑳が、請求金額㉑と追加調整する利用月で既に市から支給された額⑨の差額となることを確認します。

【追加調整シートでの手順Ⅱ（日割り計算をしない場合の入力方法）】

（複数月で調整する場合は1か月ごとに1行入力してください。）

ア 氏名②～認定開始日⑤に必要事項を入力します。

イ 追加調整する利用年月⑧に途中退園した年月を選択します。

ウ 追加調整する利用月で既に市から支給された額⑨に当該園児のその月の支給額を入力します。

エ 異動事由⑩は、退園を選択します。

オ 異動年月日⑪は、退園した日を入力します。

入力は、2025/4/1や令和7年4月1日等としてください。

カ 異動月の在園日数⑫以降は入力の必要はありません。

キ 追加調整額⑳が、請求金額㉑と追加調整する利用月で既に市から支給された額⑨の差額となることを確認します。

図：5月2日退園していたが、6月分まで支給されている場合

施設等利用費請求金額内訳書兼提供証明書（追加調整分） ※1											子ども子育て支援の提供時間帯 9:00～14:00										
No.	認定子ども						追加調整		異動事由 ※2				入園料納付額				保育料 納付額 f g+h+i	請求上 の 異動 による 1-gの 少ない 追加調整額 1-b			
	氏名	生年月日	認定番号	認定開始日 a	認定終了日	入園日	追加調整する利用 年月	追加調整する利用月で既 に市から支給された額 b	異動事由	異動年月日（異動事由を退 園、休園、復園を選択した 時のみ入力）	異動月の在 園日数 ※3	異動月の平日 日数 ※3	入園料納付 総額 d ※5	年間在園月 数 ※6 e=c/d ※6	月額換算 ※7						
							年	月													
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱				
—	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須	—	必須	—	—			
1	〇〇〇〇〇（5月で既に退園した園児）	平成31年1月1日	5000000xxxx	令和4年4月1日			令和4年	5月	25,700	退園	令和4年5月2日	1	18	120,000		30,000	30,000	1,350	1,350	24,340	
2	〇〇〇〇〇（5月で既に退園した園児）	平成31年1月1日	5000000xxxx	令和4年4月1日			令和4年	6月	25,700	退園	令和4年5月2日						25,700	0	0	25,700	

パターン5：当月の途中（2日以降）に市外へ転出する園児がいる場合

【内訳書（当月請求）シートでの手順】

- ア 請求月の在園状況（1日時点）⑦を在園と選択します。
- イ 請求月の請求対象⑨が対象となることを確認します。
- ウ 入園料納付総額⑩（入園料が発生する場合のみ）と保育料納付額⑬が入力されていることを確認します。
- エ 納付額合計⑭と無償化上限額⑮の低い方が、請求金額⑯に入力されることを確認します。

※当月の途中（2日以降）に市外へ転出する場合でも、1日現在に川崎市在住であるため、支払い対象となります。次月以降、追加調整シートで減額調整することになります。次月以降の入力方法はパターン6の追加調整シートでの手順と同じです。

図：当月途中に市外へ転出することが分かっているが、1日時点では川崎市在住である場合

施設等利用費請求金額内訳書兼提供証明書(当月請求分 年少) ※1										子ども子育て支援の提供時間帯 9:00～14:00					
No.	氏名	生年月日	認定番号	認定開始日	入園日	請求月の 在園状況 (1日時点)	退園日	請求月の 請求対象	入園料納付額			保育料納 付額 d	納付額合 計 e=c+d	無償化上 限額 f	請求金額 eとfの 少ない方
									入園料納 付総額 a ※3	年間 在園月 数 b	月額 換算 c=a/b ※4				
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
—	必須	必須	必須	必須	該当者	必須	該当者	—	該当者	該当者	—	必須	—	—	—
1	〇〇〇〇	平成30年4月2日	50000000xxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
2	●●●●	平成30年10月10日	50000000xxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
3	□□□□	平成31年1月1日	50000000xxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
4	△△△△(当月途中に市外へ転出する 園児)	平成31年2月22日	50000000xxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
5	■●●●■	平成30年5月1日	50000000xxxx	令和4年10月1日	令和4年10月1日	在園		対象	120,000	6	20,000	30,000	50,000	25,700	25,700

パターン6：先月より前に市外へ転出した園児がいる場合

【内訳書（当月請求）シートでの手順】

- ア 該当園児の請求月の在園状況（1日時点）⑦を在園のまま市外へ転出を選択します。
- イ 請求月の請求対象⑨が対象外となることを確認します。
- ウ 年間在園月数⑪が空欄になることを確認します。
- エ 入園料納付総額⑩に記入されている入園料当該年度に入園料が発生している場合のみ）と保育料納付額⑬に記入されている保育料消します。
- オ 請求金額⑯が0になることを確認します。

※次ページを参照し、追加調整シートで精算を行います。

図：当月請求時に先月在園のまま市外へ転出した園児がいる場合

施設等利用費請求金額内訳書兼提供証明書(当月請求分 年少) ※1										子ども子育て支援の提供時間帯 9:00～14:00					
No.	認定子ども								入園料納付額			保育料納付額 d	納付額合計 e=c+d	無償化上限額 f	請求金額 eとの 少ない方
	氏名	生年月日	認定番号	認定開始日	入園日	請求月の 在園状況 (1日時点)	退園日	請求月の 請求対象	入園料納 付総額 a ※3	年間 在園 月数 b	月額 換算 c=a/b ※4				
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
—	必須	必須	必須	必須	該当者	必須	該当者	—	該当者	該当者	—	必須	—	—	—
1	〇〇〇〇	平成30年4月2日	50000000xxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
2	●●●●	平成30年10月10日	50000000xxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
3	□□□□	平成31年1月1日	50000000xxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
4	△△△△(先月以前に市外へ転出する園児)	平成31年2月22日	50000000xxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園のまま市外へ転出		対象外					0	25,700	0
5	■●●●■	平成30年5月1日	50000000xxxx	令和4年10月1日	令和4年10月1日	在園		対象	120,000	6	20,000	30,000	50,000	25,700	25,700

【追加調整シートでの手順（川崎市での認定終了日が月途中で日割が発生する場合）Ⅰ】
 （複数月で調整する場合は1か月ごとに1行入力してください。）

ア 氏名②～認定開始日⑤に必要事項を入力します。

※生年月日③及び認定開始日⑤の入力は、2025/4/30や令和7年4月30日等の
 日付で入力してください。

イ 認定終了日⑥に川崎市での認定終了日を入力します。

ウ 追加調整する利用年月⑧に在園のまま市外へ転出した年月を選択します。

エ 追加調整する利用月で既に市から支給された額⑨に当該園児のその月の支給額を入
 力します。

オ 異動事由⑩は、在園のまま市外へ転出を選択します。

カ 異動月の在園日数⑫に、最後の利用日までの平日日数を入力します。

キ 異動月の平日日数⑬に、当該月の平日日数を入力します。

ク 納付総額⑭に、入園料の納付総額を入力します。（当該年度に入園料が発生している場合のみ）

ケ 保育料納付額⑰に、月額保育料を入力します。

コ 納付額合計⑱が、月額換算⑲と保育料納付額⑰の合計になることを確認します。

サ 追加調整額㉑が、請求金額⑲と追加調整する利用月で既に市から支給された額⑨の差
 額となることを確認します。

【追加調整シートでの手順（川崎市での認定終了日が月末等で、日割り計算が発生しない場合）Ⅱ】
 （複数月で調整する場合は1か月ごとに1行入力してください。）

ア 氏名②～認定終了日⑥に必要事項を入力します。

※生年月日③及び認定開始日⑤の入力は、2025/4/30や令和7年4月30日等の
 日付で入力してください。

イ 追加調整する利用年月⑧に在園のまま市外へ転出した年月を選択します。

ウ 追加調整する利用月で既に市から支給された額⑨に当該園児のその月の支給額を入力します。

エ 異動事由⑩は、在園のまま市外へ転出を選択します。

オ 異動月の在園日数⑫以降は入力する必要はありません。

カ 追加調整額㉑が市から支給された額のマイナスとなることを確認します。

（25,700円を支払われた場合は、-25,700円となる。）

図：市外へ転出により川崎市での認定終了日が5月13日となる園児で、6月まで川崎市
 から施設等利用費（保育料）が支給されている場合

施設等利用費請求金額内訳書兼提供証明書（追加調整分） ※1										子ども子育て支援の提供時間帯 9:00～14:00											
No.	認定子ども						追加調整		異動事由 ※2					入園料納付額			保育料納付額 f	納付額合 計 g=e+f	月額化上 限額 h ※7	請求金額 i=g+h の少ない方	追加調整額 j=b
	氏名	生年月日	認定番号	認定開始日 a	認定終了日	入園日	追加調整する利用 年月	追加調整する利用月で既 に市から支給された額 b	異動事由 （異動年月日（異動事由を退 園、休園、夜間を選択した 時のみ入力））	異動月の在園 日数※3	異動月の平日 日数※3	入園料納付 総額 c ※4	年間在園 月数 d ※5	月額換算 e=c/d ※6							
							年	月													
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳		
—	必須	必須	必須	必須	任意	任意	必須	必須	必須	任意	任意	任意	任意	—	—	必須	—	—	—		
1	△△△△（先月以前に市外へ転出する園児）	平成31年2月22日	50000000000000	令和4年4月1日	令和4年5月13日		令和4年	5月	25,700	右園のま ま市外へ 転出	7	19	120,000			30,000	30,000	9,468	9,468 -16,232		
2	△△△△（先月以前に市外へ転出する園児）	平成31年2月22日	50000000000000	令和4年4月1日	令和4年5月13日		令和4年	6月	25,700	右園のま ま市外へ 転出							0	25,700	0 -25,700		

パターン7：先月より前に在園のまま市外から川崎市へ転入し、認定がある場合

【内訳書（当月請求）シートでの手順】

ア 氏名②～入園日⑥に必要事項を入力します。

※生年月日③、認定開始日⑤及び入園日⑥の入力は、2025/4/30や令和7年4月30日等の日付で入力してください。

※氏名や生年月日は、施設等利用給付認定状況一覧や児童一覧（施設等利用給付認定）の差分リストで再度確認してください。

イ 請求月の在園状況（1日時点）⑦欄で在園のまま市内へ転入を選択します。

ウ 請求月の請求対象が対象となることを確認します。

エ 入園料納付総額⑩を入力します。（当該年度に入園料が発生した場合のみ）

オ 年間在園月数⑪が当該年度の在園月数となることを確認します。

※正しく反映されない場合は、入園日⑥が未入力または日付以外の形式で入力されている可能性があります。

カ 保育料納付額⑬を入力します。

キ 請求金額⑯が納付額合計⑭と無償化上限額⑮を比較して、低い金額になることを確認します。

※次ページ以降を参照し、追加調整シートで精算を行います。

図：在園のまま市内へ転入し、川崎市での認定が7月8日からとなっている場合

施設等利用費請求金額内訳書兼提供証明書(当月請求分 年少) ※1										子ども子育て支援の提供時間帯 9:00～14:00					
No.	氏名	生年月日	認定番号	認定開始日	入園日	請求月の在園状況 (1日時点)	退園日	請求月の請求対象	入園料納付額			保育料 納付額 d	納付額合計 e=c+d	無償化上 限額 f	請求金額 eとfの 少ない方
									入園料納付総額 a ※3	年間 在園 月数 b	月額 換算 c=a/b ※4				
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
—	必須	必須	必須	必須	該当者	必須	該当者	—	該当者	該当者	—	必須	—	—	—
1	〇〇〇〇	平成30年4月2日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
2	●●●●	平成30年10月10日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
3	□□□□	平成31年1月1日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
4	△△△△	平成31年2月22日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
5	■●●●■	平成30年5月1日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年10月1日	在園		対象	120,000	6	20,000	30,000	50,000	25,700	25,700
6	☆☆☆☆(在園のまま市外から転入した園児)	平成30年8月10日	50000000xxxxx	令和4年7月8日	令和4年5月1日	在園のまま市内へ転入		対象	120,000	11	10,900	30,000	40,900	25,700	25,700

【追加調整シートでの手順（川崎市での認定が月途中で日割り計算が発生する場合）Ⅰ】
（複数月で調整する場合は1か月ごとに1行入力してください。）

ア 氏名①～入園日⑦に必要事項を入力します。

※生年月日③及び認定開始日⑤～入園日⑦は、2025/4/1や令和7年4月1日等、日付形式で入力してください。

イ 追加調整する利用年月⑧に請求していない年月を選択します。

ウ 追加調整する利用月で既に市から支給された額⑨に当該園児のその月の支給額を入力します。（支払われていない時は、0と入力します。）

エ 異動事由⑩は、在園のまま市内へ転入を選択します。

オ 異動月の在園日数⑫に、認定開始日より最初の利用日以降の平日日数を入力します。

カ 異動月の平日日数⑬に、当該月の平日日数を入力します。

キ 納付総額⑭に、入園料の納付総額を入力します。（当該年度に入園料が発生している場合のみ入力してください。）

ク 年間在園月数⑮が、当該年度の在園月数となることを確認します。

※正しく反映されない場合、入園日⑦が未入力または日付以外の形式で入力されている可能性があります。

ケ 保育料納付額⑰に、月額保育料を入力します。

コ 納付額合計⑱が、月額換算⑰と保育料納付額⑰の合計になることを確認します。

サ 追加調整額㉑が、請求金額㉒と追加調整する利用月で既に市から支給された額⑨の差額となることを確認します。

図：8月請求時に川崎市の認定開始日が7月8日となる園児の7月分を請求する場合

施設等利用費請求金額内訳書兼提供証明書（追加調整分） ※1														子ども子育て支援の提供時間帯 9:00～14:00									
No.	認定子ども						追加調整		異動事由 ※2				入園料納付額						保育料 納付額 f	納付額合 計 g=e+f	無償化上 限額 h ※7	請求金額 i=g+h の少ない方	追加調整額 i-b
	氏名	生年月日	認定番号	認定開始日 a	認定終了日	入園日	追加調整する利用		異動事由	異動年月日（異動事由を退園、休園、復園を選択した時のみ入力）	異動月の在園 日数※3	異動月の平日 日数※3	入園料納付 総額 c ※4	年間在園 月数 d ※5	月額換算 e=c/d ※6								
							追加調整する利用月分 b																
							年	月															
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳				
—	必須	必須	必須	必須	該当者	該当者	必須	必須	必須	該当者	該当者	該当者	該当者	該当者	—	—	必須	—	—	—	—		
1	☆☆☆☆☆（在園のまま市外から転入した園児）	平成30年8月10日	5000000000000000	令和4年7月8日	令和7年3月31日	令和4年5月1日	令和4年	7月	0	在園のまま市内へ転入		14	20	120,000			30,000	30,000	17,990	17,990	17,990		

【追加調整シートでの手順（日割り計算が発生しない場合）Ⅱ】

（複数月で調整する場合は1か月ごとに1行入力してください。）

ア 氏名②～入園日⑦に必要事項を入力します。

※生年月日③及び認定開始日⑤～入園日⑦は、2025/4/1や令和7年4月1日等、日付形式で入力してください。

イ 追加調整する利用年月⑧に在園のまま市内へ転入した月を選択します。

ウ 追加調整する利用月で既に市から支給された額⑨に当該園児のその月の支給額を入力します。（支給がない場合は、0と入力します。）

エ 異動事由⑩は、在園のまま市内へ転入を選択します。

オ 異動月の在園日数⑫と異動月の平日日数⑬は入力の必要はありません。

カ 入園料納付総額⑭に入園料を入力します。（入園料が発生している場合のみ）

キ 保育納付額⑰に保育料を入力します。

ク 追加調整額⑰が月額保育料と無償化上限額 25,700 円と比較して低い額となることを確認します。

図：8月請求時に川崎市の認定開始日が7月1日となる園児の7月分を請求する場合

施設等利用費請求金額内訳書兼提供証明書（追加調整分） ※1										子ども子育て支援の提供時間帯 9:00～14:00											
No.	認定子ども						追加調整		異動事由 ※2				入園料納付額				保育料 納付額 f	給付額 計 g=e+f	無償化上 限額 h ※7	請求金額 i=g+h の少ない方	追加調整額 i-b
	氏名	生年月日	認定番号	認定開始日 a	認定終了日	入園日	追加調整する利用 年月	追加調整する利用月で既 に市から支給された額 b	異動事由	異動年月日（異動事由を退 園、休園、復園を選択した 時のみ入力）	異動月の在園 日数※3	異動月の平日 日数※3	入園料納付 総額 c	年間在園 月数 d	月額換算 e=c/d ※6						
							年	月			数値を入力し てください。	数値を入力し てください。	※4	※5	※6						
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳		
一	必須	必須	必須	必須	該当者	該当者	必須	必須	必須	該当者	該当者	該当者	該当者	—	—	必須	—	—	—		
1	☆☆☆☆（在園のまま市外から転入した園児）	平成30年8月10日	50000000000000	令和4年7月1日	令和7年3月31日	令和4年5月1日	令和4年7月	0	在園のまま市内へ転入				120,000			30,000	30,000	25,700	25,700	25,700	

パターン８：先月で病気等の理由で長期の休みに入った園児（休園した園児）がいる場合

パターン８のような長期の休みに入っている園児がいる場合には、休園月の入力方法をご案内いたしますので、幼保無償化事務センター宛て連絡してください。

※以下、参考手順です。

＜前月途中から休園する場合＞

【当月請求シートでの手順】

ア 請求月の在園状況（１日時点）⑦で休園を選択します。

イ 請求月の請求対象⑨で対象外となることを確認します。

ウ 請求金額⑯が０になることを確認します。

エ 認定開始月から休園月までの月数を入力します。

※月数の入力については、入力箇所が欄外となりますので、幼保無償化事務センターの説明

に沿って入力してください。

※次ページを参照し、追加調整シートで精算を行います。

図：７月請求時に前月途中（６月）から休園している園児がいる場合

施設等利用費請求金額内訳書兼提供証明書(当月請求分 年少) ※1										子ども子育て支援の提供時間帯 9:00～14:00					
No.	認定子ども							入園料納付額		年間 在園 月数 b	月額 換算 c=a/b ※4	保育料 納付額 d	納付額合 計 e=c+d	無償化上 限額 f	請求金額 eとの 少ない方
	氏名	生年月日	認定番号	認定開始日	入園日	請求月の 在園状況 (1日時点)	退園日	請求月の 請求対象 a ※3	入園料納 付総額 a ※3						
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
—	必須	必須	必須	必須	該当者	必須	該当者	—	該当者	該当者	—	必須	—	—	—
1	〇〇〇〇	平成30年4月2日	50000000xxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
2	●●●●	平成30年10月10日	50000000xxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
3	□□□□	平成31年1月1日	50000000xxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
4	△△△△	平成31年2月22日	50000000xxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
5	■ ■ ■ ■ ■	平成30年5月1日	50000000xxxx	令和4年10月1日	令和4年10月1日	在園		対象	120,000	6	20,000	30,000	50,000	25,700	25,700
6	☆☆☆☆☆(休園の園児)	平成30年8月10日	50000000xxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	休園		対象外	120,000	3	40,000	30,000	70,000	25,700	0

【追加調整シートでの手順】

(複数月で調整する場合は1か月ごとに1行入力してください。)

ア 氏名②～認定終了日⑥に必要事項を入力します。

※生年月日③、認定開始日⑤及び認定終了日⑥は、2025/4/1や令和7年4月1日等、日付形式で入力してください。

イ 追加調整する利用年月⑧に休園した月を入力します。

ウ 追加調整する利用月で既に市から支給された額⑨に市から支払われた金額を入力します。

エ 異動事由⑩は、休園を選択します。

オ 異動年月日⑪は、休園した日を入力します。

入力は、2025/4/1や令和7年4月1日等としてください。

カ 異動月の在園日数⑫に、最後の利用日までの平日日数を入力します。

キ 異動月の平日日数⑬に、当該月の平日日数を入力します。

ク 入園料納付総額⑭に、入園料を入力します。(当該年度に入園料が発生している場合のみ入力してください。)

ケ 認定開始月から休園月までの月数を入力します。

※月数の入力については、入力箇所が欄外となりますので、幼保無償化事務センターの説明に沿って入力してください。

コ 保育料納付額⑰に、月額保育料を入力します。

サ 納付額合計⑱が、月額換算⑯と保育料納付額⑰の合計になることを確認します。

シ 追加調整額㉑が、請求金額㉒と追加調整する利用月で既に市から支給された額⑨の差額となることを確認します。

図：7月請求時に6月16日から休園している園児がいる場合

施設等利用費請求金額内訳書兼提供証明書（追加調整分） ※1												子ども子育て支援の提供時間帯 9:00～14:00									
No.	認定子ども						追加調整		異動事由 ※2				入園料納付額				保育料 納付額 f g=e+f	納付額 合計 h i=g+h ※7	無償化上 限額 の 少ない方	請求金額 の 少ない方 i-b	
	氏名	生年月日	認定番号	認定開始日 a	認定終了日	入園日	追加調整する利用 年月	追加調整する利用月で既 に市から支給された額 b	異動事由	異動年月日（異動事由を退 園、休園、復園を選択した 時のみ入力）	異動月の在園 日数※3	異動月の平日 日数※3	入園料納付 総額 c ※4	年間在園 月数 d ※5	月額換算 e=c/d ※6						
							年	月			数値を入力し てください。	数値を入力し てください。									
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲			
一	必須	必須	必須	必須	該当者	該当者	必須	必須	必須	該当者	該当者	該当者	該当者	—	—	必須	—	—	—	—	
1	☆☆☆☆（休園の園児）	平成30年8月10日	50000000xxxx	令和4年4月1日	令和7年3月31日	令和4年5月1日	令和4年	6月	25,700	休園	令和4年6月16日	11	22	120,000			30,000	30,000	12,850	12,850	-12,850

<当月 1 日から休園する場合>

【当月請求シートでの手順】

- ア 請求月の在園状況（1 日時点）⑦で休園を選択します。
 - イ 請求月の請求対象⑨で対象外となることを確認します。
 - ウ 請求金額⑯が 0 になることを確認します。
 - エ 認定開始月から休園月までの月数を入力します。
- ※月数の入力については、入力箇所が欄外となりますので、幼保無償化事務センターの説明に沿って入力してください。

図：7 月請求時に 7 月 1 日から休園する園児がいる場合

施設等利用費請求金額内訳書兼提供証明書(当月請求分 年少) ※1										子ども子育て支援の提供時間帯 9:00~14:00					
No.	認定子ども								入園料納付額			保育料 納付額 d	納付額合 計 e=c+d	無償化上 限額 f	請求金額 eとfの 少ない方
	氏名	生年月日	認定番号	認定開始日	入園日	請求月の 在園状況 (1日時点)	退園日	請求月の 請求対象	入園料納 付総額 a ※3	年間 在園 月数 b	月額 換算 c=a/b ※4				
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
—	必須	必須	必須	必須	該当者	必須	該当者	—	該当者	該当者	—	必須	—	—	—
1	〇〇〇〇	平成30年4月2日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
2	●●●●	平成30年10月10日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
3	□□□□	平成31年1月1日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
4	△△△△	平成31年2月22日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
5	■●●●●	平成30年5月1日	50000000xxxxx	令和4年10月1日	令和4年10月1日	在園		対象	120,000	6	20,000	30,000	50,000	25,700	25,700
6	☆☆☆☆(休園の園児)	平成30年8月10日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	休園		対象外	120,000	3	40,000	30,000	70,000	25,700	0

パターン9：病気等による長期の休みが終わり、登園を再開した園児がいる場合

パターン9のような長期の休みが終わった園児がいる場合には、復園月の入力方法をご案内いたしますので、幼保無償化事務センター宛て連絡してください。

※以下、参考手順です。

<前月途中に登園を再開>

【当月請求シートでの手順】

ア 請求月の在園状況（1日時点）⑦に復園と選択します。

イ 請求月の請求対象が対象となることを確認します。

ウ 登園を再開した月から当該年度の3月までの月数を入力します。

※月数の入力については、入力箇所が欄外となりますので、幼保無償化事務センターの説明に沿って入力してください。

エ 年間在園月数⑪が12ヶ月と休園した月数の差となることを確認します。

オ 納付額合計⑭と無償化上限額⑮と比較し、低い方が請求金額⑯になることを確認します。

※次ページを参照し、追加調整シートで精算を行います。

図：9月請求時に、6月途中に休園し、8月途中から復園した園児がいる場合

施設等利用費請求金額内訳書兼提供証明書(当月請求分 年少) ※1									子ども子育て支援の提供時間帯 9:00～14:00						
No.	認定子ども								入園料納付額						
	氏名	生年月日	認定番号	認定開始日	入園日	請求月の在園状況(1日時点)	退園日	請求月の請求対象	入園料納付総額 a ※3	年間在園月数 b	月額換算 c=a/b ※4	保育料納付額 d	納付額合計 e=c+d	無償化上限額 f	請求金額 eとfの少ない方
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
—	必須	必須	必須	必須	該当者	必須	該当者	—	該当者	該当者	—	必須	—	—	—
1	〇〇〇〇	平成30年4月2日	50000000xxxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
2	●●●●	平成30年10月10日	50000000xxxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
3	□□□□□	平成31年1月1日	50000000xxxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
4	△△△△	平成31年2月22日	50000000xxxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	25,700
5	■●●●●	平成30年5月1日	50000000xxxxxx	令和4年10月1日	令和4年10月1日	在園		対象	120,000	6	20,000	30,000	50,000	25,700	25,700
6	☆☆☆☆(復園の園児)	平成30年8月10日	50000000xxxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	復園		対象	120,000	10	12,000	30,000	42,000	25,700	25,700

【追加調整シートでの手順】

(複数月で調整する場合は1か月ごとに1行入力してください。)

ア 氏名②～認定開始日⑤に必要事項を入力します。

※生年月日③及び認定開始日⑤は、2025/4/1や令和7年4月1日等、日付形式で入力してください。

イ 追加調整する利用年月⑧に復園した月を入力します。

ウ 追加調整する利用月で既に市から支給された額⑨に市から支払われた金額を入力します。(支払われてない場合は、0と入力する。)

エ 異動事由⑩は、復園を選択します。

オ 異動年月日⑪は、復園した日を入力します。

入力は、2025/4/1や令和7年4月1日等、日付形式で入力してください。

カ 異動月の在園日数⑫に、復園した日からの平日日数を入力します。

キ 異動月の平日日数⑬に、当該月の平日日数を入力します。

ク 納付総額⑭に、入園料を入力します。(当該年度に入園料が発生している場合のみ入力してください。)

ケ 12ヶ月から休園期間を引いた月数を入力します。

※月数の入力については、入力箇所が欄外となりますので、幼保無償化事務センターの説明に沿って入力してください。

コ 保育料納付額⑰に、月額保育料を入力します。

サ 納付額合計⑱が、月額換算⑯と保育料納付額⑰の合計になることを確認します。

シ 追加調整額㉑が、請求金額㉒と追加調整する利用月で既に市から支給された額⑨の差額となることを確認します。

図：9月請求時に、6月途中に休園し、8月22日から復園した園児がいる場合

施設等利用費請求金額内訳書兼提供証明書（追加調整分） ※1											子ども子育て支援の提供時間帯 9:00～14:00										
No.	認定子ども						追加調整		異動事由 ※2				入園料納付額				保育料 納付額 f	納付額合 計 g=e+f	無償化上 限額 h	請求金額 i=g+h の少ない方	追加調整額 i-b
	氏名	生年月日	認定番号	認定開始日 a	認定終了日	入園日	追加調整する利用 年月		追加調整する利用月で環 に市から支給された額 b	異動事由	異動年月日（異動事由を通 園、休園、復園を選択した 時のみ入力）	異動月の在園 日数※3	異動月の平日 日数※3	入園料納付 総額 c	年間在園 月数 d	月額換算 e=c/d ※5					
							年	月													
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳		
一	必須	必須	必須	必須	該当者	該当者	必須	必須	必須	該当者	該当者	該当者	該当者	一	一	必須	一	一	一		
1	☆☆☆☆（復園の園児）	平成30年8月10日	50000000000000	令和4年4月1日	令和7年3月31日		令和4年	8月	0	復園	令和4年8月22日	8	22	120,000			30,000	30,000	9,345	9,345	9,345

<当月 1 日に登園を再開>

【当月請求シートでの手順】

- ア 請求月の在園状況（1 日時点）⑦に復園と選択します。
- イ 請求月の請求対象が対象となることを確認します。
- ウ 登園を再開した月から当該年度の 3 月までの月数を入力します。
- ※月数の入力については、入力箇所が欄外となりますので、幼保無償化事務センターの説明に沿って入力してください。
- エ 年間在園月数⑪が、12ヶ月と休園した月数の差となることを確認します。
- オ 納付額合計⑭と無償化上限額⑮と比較し、低い方が請求金額⑯になることを確認します。

図：7 月 1 日から休園し、2 月 1 日から登園を再開した場合

施設等利用費請求金額内訳書兼提供証明書(当月請求分 年少) ※1										子ども子育て支援の提供時間帯 9:00～14:00					
No.	認定子ども								入園料納付額			保育料 納付額 d	納付額合 計 e=c+d	無償化上 限額 f	請求金額 eとfの 少ない方
	氏名	生年月日	認定番号	認定開始日	入園日	請求月の 在園状況 (1日時点)	退園日	請求月の 請求対象	入園料納付 総額 a ※3	年間 在園月数 b	月額 換算 c=a/b ※4				
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
—	必須	必須	必須	必須	該当者	必須	該当者	—	該当者	該当者	—	必須	—	—	
1	〇〇〇〇	平成30年4月2日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	
2	●●●●	平成30年10月10日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	
3	□□□□	平成31年1月1日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	
4	△△△△	平成31年2月22日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	在園		対象	120,000	12	10,000	30,000	40,000	25,700	
5	■●●■	平成30年5月1日	50000000xxxxx	令和4年10月1日	令和4年10月1日	在園		対象	120,000	6	20,000	30,000	50,000	25,700	
6	☆☆☆☆☆(復園の園児)	平成30年8月10日	50000000xxxxx	令和4年4月1日	令和4年4月1日	復園		対象	120,000	5	24,000	30,000	54,000	25,700	

<当月 2 日以降に登園を再開>

- 次月請求時に、入力をしてください。
- 入力手順は、パターン 8 と同じです。

3 川崎市へ申請する

作成が終了したらオンライン手続かわさき(e-KAWASAKI)から申請します。

申請方法は、オンライン手続かわさき(e-KAWASAKI)利用者用操作マニュアル【施設等利用費(保育料)請求用】(P 14以降)を参照してください。

なお、令和4年10月から施設等利用費(保育料)請求書の押印が廃止されたことに伴い、押印済み請求書の作成及び送付は不要となります。

川崎市施設等利用費（保育料）請求事務マニュアル（私学助成幼稚園用）

発 行 川崎市こども未来局保育・幼児教育部幼児教育担当

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1

TEL 044-200-3179